

第 160 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 30 年 9 月 26 日（水） 13：30～15：17

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 佐々木部長 古森課長 湯浅室長 市原課長 牛尾室長 村木課長

長見所長 外浦課長 村瀧室長 原田分室長（代理：岩本係長）

佐々尾分室長（代理：官澤係長） 三浦分室長（欠席）

小松分室長（欠席）

書記：日ノ原係長 木谷主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 教育委員会学校訪問について（資料 1）
- (2) 浜田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について（資料 2）
- (3) 浜田市教育委員会事務処理規則の一部を改正する規則について（資料 3）
- (4) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について（資料 4）
- (5) 平成 30 年 10 月 1 日付け人事異動について（資料 5）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

1 教育長報告

石本教育長

まず、委員方に重要な報告がある。今年度から中学校の普通教室、特別支援学級にエアコンを設置するということで、今年度が中学校 3 年生、来年度が中学 2 年生、再来年度が中学 1 年生という順番で 3 か年かけて整備をする。小学校については、まだ方針が決定をされていないが、9 月の議会でも多数の議員方からエアコンの設置についての要望等そういった提案があった。そして、他市の状況、文部科学省の考え方等を勘案して、整備方針を決定した。

今年度、中学 3 年生の普通教室にエアコンを設置しているが、約 1,000 万円の不用額があったため、それを使って来年度実施予定であった中学 1、2 年生の教室の設計を今年度中に行う。そして来年度に 2 年生、そして前倒しになるが 1 年生の教室にエアコン

の設置を行い、結果的に中学校は今年度と来年度の2か年で整備が完了するという事になった。

小学校については、来年度全ての学校の設計を行う。そして33年度の4月に間に合わせるような形で、全ての教室にエアコンを設置するという事を浜田市の方針として決定した。

中学校と小学校全ての総事業費は約5億8,300万円であるが、国の交付金が今後、増額されるという情報もあり、それが交付されるということになれば手続きをするが、概ね財源はふるさと寄附を充てるということで話を進めている。

そういう訳で、委員方に相談する間もなく浜田市で決定をさせて頂いていただいた。32年度末までには小中学校全ての普通教室、特別支援学級にエアコンが設置される。今までの進み方と比べると遙かに進んでおり、喜んでいただけている。

ただし、来年再来年の7月に間に合うか心配ではあるが、今年度は設計の後に工事に入ったため、夏までに間に合わなかったが、前年度中に設計を済ませるため、7月の実際に稼動するまでには何とかエアコンの設置を完了したいと思っている。

それでは、お配りしている資料に基づいて報告をさせて頂く。

① 8月24日(金)第159回浜田市教育委員会定例会(2階会議室)
前回の定例会を8月24日に開催をしている。

② 8月27日(月)県市町村教育委員会連合会から、島根県教育委員会への要望(県教委)

県市町村教育委員会連合会から、島根県教育委員会へ要望書を提出した。お手元に資料をお配りしており、私は副会長であるため、会長と他の副会長とともに、こういった内容を県へ要望しに行った。要望書の、最初のところでは島根県内の特色として、他県と比べて小規模校が多いという中で小規模校に対する特色ある教育施策をもっと前面に出して進めるべきではないかという要望、また、単式と複式を繰り返す学校が何校か浜田市内にもあるが、そういったところについては県費負担で非常勤講師を配置してもらいたいといった様な要望をした。それから特に特別支援の関係では、免許を持っている先生方が少ないということで、先生方の更なる研修に力を入れてほしいといった要望をした。にこにこサポート、にこ特等に係る非常勤講師の配置についても継続かつ拡大の要望をしたところである。

資料の下に、国に対して強く働きかけをお願いしたいという事項というものがあり、その中で学校については耐震化等について国の補助があるが、例えば、石央文化ホールの耐震化の工事や天井が吊天井であるが、その落下防止措置や撤去する等の工事に対してや、公民館の改修にかかる工事については一切国の補助がない。そういった社会教育施設にも小中学校並みに、補助をしてほしいと前々から要望をしているが中々実現されていないため、継続して要望した。それから小学校の英語教育だが、若干の加配はあるが、微々たるものであるため、英語教諭の加配の数を増やしてほしいといった要望もしている。

- ③ 8月27日（月）三隅町湊浦自治会からの要望<旧三保小学校校舎の活用について>（庁議室）

三隅町湊浦自治会から市長へ要望を出された。

- ④ 8月28日（火）三隅町湊浦自治会からの要望<旧三保小学校校舎の活用について>（教育長室）

三隅町湊浦自治会から教育委員会へ要望があった。今、旧三保小学校は三保公民館の附属施設となっており、倉庫として一部を地元の方が使っておられる状況であった。

湊浦自治会からの要望は、全室を使いたいということ、そして改修もして欲しいということであった。改修についてはできないが、今の形で地元の方に限って使っていただけるなら使える様にしようと思っているが、細かい点については地元と教育委員会とで協議をしなければならないと思っている。

- ⑤ 8月28日（火）第4回石本正日本画大賞展オープニングセレモニー（石正美術館）

今年は美術系の学科を備える31の大学から、88点の作品が集まった。1つの大学から3点以内という基準があり、大学内で選考された良い作品が集まっている。88点全てレベルの高い作品であったと思う。

- ⑥ 8月30日（木）9月市議会定例会・提案説明・全員協議会

8月30日から9月の市議会定例会が始まった。

- ⑦ 8月31日（金）退職公民館主事への感謝状贈呈（教育委員室）

長浜公民館の岩本公民館主事が退職されたため、感謝状の贈呈を行った。

- ⑧ 9月1日（土）～2日（日）島根あさひ社会復帰促進センター開所10周年記念フォーラム（県立大学）

色々な発表等あって非常に勉強になった2日間であった。人権教育推進の大切さをつくづく感じた。

また、出所後の就労が再犯の防止につながるということで、県内にも、出所した方を受け入れる協力事業所がかなりあるということであり、事業所に入った方は、非常に頑張っているとおられると報告があった。本人が直接画面に出ての報告もあった。

⑨ 9月3日(月) 9月市議会定例会・一般質問(1日目)

⑩ 9月4日(火) 9月市議会定例会・一般質問(2日目)

⑪ 9月5日(水) 9月市議会定例会・一般質問(3日目)

⑫ 9月6日(木) 9月市議会定例会・一般質問(4日目)

9月3日から4日間、一般質問が行われた。

⑬ 9月5日(水) 平成30年度・少年の主張浜田市大会(三隅中体育館)

私は欠席させていただいたが、金本委員に教育委員会を代表して挨拶をしていただいた。ありがとうございました。最優秀賞一席、二席、優秀賞2名が決定された。

⑭ 9月8日(土) 体育祭《一中、二中、三中、四中、浜田東中、金城中、弥栄小・弥栄中、三隅中》

中学校を皮切りに体育祭、運動会が行われた。

⑮ 9月9日(日) 体育祭《旭中》

旭中学校で体育祭が行われた。

⑯ 9月11日(火) 体育祭《美川幼・美川小・四中》

美川幼・美川小・四中の合同の体育祭が行われた。

⑰ 9月12日(水) 浜田市教育研究大会(幼稚園部)(原井幼稚園)

浜田市教育研究会の公立幼稚園の研究大会が原井幼稚園で行われた。私は欠席をさせていただいたが、園児数が少ない中で、その園児を中心とした研究発表がされたと報告があった。

⑱ 9月12日(水) 浜田市公立幼稚園PTA連合会要望

毎年要望が出ているが、今年度は大きく7点の要望があった。「公立幼稚園は是非存続をしてほしい」という要望があり、保護者の方は、来年度に原井幼稚園が閉園になるのではないかと思っておられ、残りが3園になれば、近い将来1園に統合されるのではないかと心配をされていると幼稚園から聞いた。それから、「預かり保育の実施をしてほしい」といった要望もあった。他に「給食の実施」、今年は環境整備の中で「幼稚園に

もエアコンを設置してほしい」という要望もあった。先ほど小学校と中学校については方針を申ししたが、まだ教育委員会の力不足で幼稚園まで決定をされていないため、来年の新年度予算が決まるまでのところでは何とか幼稚園の方向性を決めていきたいと思っている。

- ⑲ 9月15日（土）運動会《国府小、今福小、岡見小》
- ⑳ 9月16日（日）運動会《原井小、雲雀丘小、松原小、石見小、長浜小、周布小、三階小、雲城小、波佐小、旭小、三隅小》
全ての小学校で運動会が行われた。
- ㉑ 9月16日（日）第16回島根県民文化祭しまね文芸フェスタ2018（いわみ〜る）
俳句、短歌、詩、散文等をされている方々が県内から集まり、自分たちのそれぞれの分野に分かれて活動をされていた。私は開会式に参加をした。
- ㉒ 9月16日（火）第4回石本正日本画大賞・表彰式（石正美術館）
先ほど、オープニングセレモニーの話をしたが、その表彰式が行われた。
- ㉓ 9月21日（金）全日本同和会中国地区女性部・青年部合同研修会（浜田合庁）
100人くらいの方が集まっておられた。中国地区ということであるが、岡山県以外の4県の参加であった。同和会の活動も高齢化に伴って中々難しいところであり、この研修会も昔は各県持ち回りをしてきたが、最近では島根県と山口県の2県で交互に開催するという形になっている。今回で49回目になるが、浜田市で開催されるのは今回が初めてであった。午前中はパネルディスカッション、午後からの分科会とそれぞれ熱心に研修会が行われた。
- ㉔ 9月22日（土）福井誠記念プール除幕式（市室内プール）
浜田市室内プールに愛称を付けるということで、県立体育館は「竹本正男アリーナ」という愛称が付いているが、それと同じ様な意味合いで室内プールに「福井誠記念プール」といった愛称を付け、そのネームプレートの除幕式を行った。当日は福井誠さんの弟の福井七郎さんに東京からお越しいただき、式典に花を添えていただいた。
- ㉕ 9月23日（日）『福井誠記念プール』命名記念イベント

すずスイムクリニックが開催され、水泳教室が行われた。千葉すずさんにご主人である山本貴司さん、寺川綾さんにご主人である細川大輔さん、元オリンピック選手でトップレベルである皆さんが講師として来られた。

今まで、千葉すずさんにはアクアみすみで水泳教室を行っていただいていたが、今年から浜田市室内プールで小学生の指導もしていただく。今年は一階小学校、2年ぐらい前には松原小学校の水泳指導をしていただいた。総勢100人を超える生徒や一部大人も含めて指導していただいたと報告があった。

⑳ 9月26日(水)平成30年度浜田市中学校駅伝競走大会(石見海浜公園)

男女ともに第一中学校が優勝をした。今年も区間新記録が出ることを期待していたが、男女1つずつの2区間で新記録が出たということであった。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

9月8日に体育祭が行われたが、資料の浜田東中学校と三隅中学校にアンダーラインが引かれているのは何か意味があるのか。

石本教育長

アンダーラインを引いている学校は、私が参加できなかった学校である。他の行事なども全て、アンダーラインが引いてあるところは私が参加していないという意味である。8日でいうと、浜田東中学校と三隅中学校以外は全て参加している。

藤本委員

承知した。

先ほどエアコンについての報告があったが、その報告の内容について1週間前に新聞で詳しく書いてあったのを見た。私は素晴らしい決断をされたと思う。問題は幼稚園であるが、幼稚園だけ残すのはどうかと思っている。可能な限り幼稚園を小学校とレベルを合わせた中でやっていかないと、幼稚園だけ設置しないというのは色々な問題があると思うため、検討していただきたいと思う。

石本教育長

幼稚園についても、新年度予算編成時には何とか設置をする方向で財政課と協議をしたいと思っている。

宇津委員は少年の主張浜田市大会で審査員をされていたが、どう感じられたか。

昨年までは審査員が5人だったが、今年は審査員が4人であり、何か理由があったのかもしれないが、やはり審査員は5人の方が良いという話が審査員の中でも話が出た。浜田市校長会副会長の
大野校長にその旨を伝えている。

最優秀賞一席は三隅中学校の河野さんであり、一席と二席は実は同数であった。審査については、それぞれの審査員が1位から5位まで点数で表し、1位が5点、2位が4点、という様に5位まで点数を付け、それぞれの審査員が出した点数を合計して審査を行う。点数が同数の場合は協議をして最終的に決定をする。今回は一席と二席が同数であったため、協議をしたが県大会へ出場するのに、どちらのインパクトが強いかということで最終的に三隅中学校の河野さんに決まった。

河野さんの発表は、「ひまわりとオオチドメ」というタイトルで、ひまわりは皆さんご存知のように暖かくて活発なイメージがあるが、オオチドメという植物はどんな植物か私もよく分からないが、発表の中では非常に小さく目立たなくてひっそりとした様な印象を彼は持ったとのことであった。世の中には、ひまわりの様に活動する活躍する人間と、オオチドメの様にひっそりと影で支える人間の2通りあり、それぞれに活躍する世の中でなければならないとの結論に至った。彼は自分の性格としては、オオチドメの様な性格ではあるが、自分は実際に中学校生活の中で野球部のキャプテンを任せられ、キャプテンとして表に出て活躍しなければならない人の苦勞も分かったということであった。そんなことから今、両方が相まったそういう中で、それぞれの立場で頑張ることが大事だという結論を述べられた。

同数で二席となった旭中学校の官澤さんは、「マイキャラ」というタイトルで、自分の性格は派手な性格ではないので何かと非難を浴びたり、攻撃されたりする場面があったが、それでも自分のキャラクターを大事にしていくことが大切だという発表であった。

いずれにしても、中学生にしては非常に素直でよく身の回りのものを見て、自分の持っている意思を伝えられた発表であった。

また、今年度までは各学校持ち回りで行っていたが、来年度からは石中央文化ホールで固定して行い、会場に生徒を集める計画がある。その背景には持ち回りにすると中学校は9校あるため、在学中に経験できない生徒が出てくる。そうではなくて毎年少しづ

つではあるが、子どもたちを石央文化ホールに集め、多くの生徒に経験をさせたいというねらいがある。ただし、それには交通費等もかかるため、教育委員会にも要望として出てくると思っている。

石本教育長 ありがとうございます。

委員方 その他はよろしいか。

 特になし。

2 議題

(1) 教育委員会学校訪問について（資料1）

日ノ原係長 先月の定例会の後に日程調整をさせていただいた、幼稚園の学校訪問についてである。2 訪問日程をご覧いただき、10 月 30 日と 11 月 1 日の午前中で 2 園ずつ訪問する日程を作らせていただいた。幼稚園と調整をした結果、10 月 30 日は原井幼稚園、美川幼稚園に訪問し、11 月 1 日は石見幼稚園、長浜幼稚園に訪問する予定である。出発時間は 9 時 20 分であるため、小中学校の学校訪問と同様に 9 時 20 分までに北分庁舎裏側の駐車場にお集まりいただければと思う。また、直接行かれるという場合にはご連絡いただきたい。訪問者は 9 名である。

4 訪問内容についてであるが、園内視察を最初に 15 分程度行い、その後ヒアリングを 35 分程度行い、合計 50 分で考えている。

続いて、意見交換のテーマであるが、例年特にテーマを設定せずに自由な形で委員方からご意見ご質問等をいただいている。最初に園長から前段で紹介等していただき、質疑応答という流れになるが、今回について特別なテーマを事前に示してそれについて意見交換を行うのか、従来通り特に設定せずに行うのか、ご相談させていただければと思う。裏面には学校訪問者名簿を載せている。以上である。

石本教育長 幼稚園の学校訪問について事務局から説明があった。意見交換のテーマについてであるが、従来はテーマを設定せずに行っていたが、今年度も従来度通りで行うか、それとも特定のテーマを決めて行うか。その辺りを相談したいと思うがいかがか。

視察とヒアリングの時間配分について小中学校は半々くらいであると思うが、幼稚園は視察の時間を長くとっているのではないか。

日ノ原係長 昨年度は実際に私が行っていないが、資料によると 15 分から

	20分視察をし、残りの30分程度が意見交換という記録があった。視察の時間を増やすということも可能であると思う。
石本教育長	個人的には、先生方と意見交換をするよりも園児を見ていたら様子が分かると感じる。
日ノ原係長 藤本委員	視察を25分と意見交換を25分でも設定は可能である。 例えば、経営方針などは改めてお話いただかなくても大体把握している。一番聞きたいのは幼稚園の園長先生を中心に色々な問題、課題を持っておられ、そういったことを吐き出す機会がないと思う。そのようなことを、訪問した時に吐き出しをされて、私たちも一緒に考えられることがあれば園長先生や先生方の肩の荷も少しは降りると思う。こういった機会にそういう意見交換もしてみたいと思った。
石本教育長 藤本委員	テーマは設けずということか。 そうである。幼稚園から何もないと言われればそれでいいが、中々そうはいかないと思う。
石本教育長	確かに、園長会が毎月1回あり、教育総務課長、総務企画係長が出席して色々聞いてはいる。しかし、職員に対してお願いをされることと、委員方をお願いされるのでは違うと思うため、是非聞いていただきたい。
宇津委員	テーマというよりは話の中で聞いてみようと思うが、子どもの数が減ってきている現状の中で、従来の業務を変更したりあるいは工夫をしたりする必要があると思う。他の園の話を見たり聞いたりすることで、参考になることがあると思うため、そういったことを聞き出せればと思う。
石本教育長	では従来通りテーマについては決めずに、自由な意見交換をするということで行いたいと思う。 日程等については前回の定例会の後に確認をさせていただいているが、その後都合の悪い方はおられるか。
委員方	大丈夫である。
石本教育長	それでは、10月30日と11月1日の2日間に渡ってお願いしたいと思う。

(2) 浜田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について(資料2)

日ノ原係長	先般、議題の(5)平成30年10月1日付けの人事異動についての承認をいただく際に少しお話をさせていただいたが、資料2の目的・理由で10月1日付けの機構改革に伴い、市長部局に契
-------	---

約管理課を新設することとなり、教育部の経理部門が市長部局に移管されるという形に伴う改正である。

概要としては、分掌事務の変更ということで2点ある。3ページの新旧対照表に、具体的に変わる分掌事務があり、第4条の教育総務課総務企画係が該当する。総務企画係で経理事務を行っていたが、第13号の歳出予算の執行及び第14号の部所管事項に係る契約に関する部分が市長部局に移管されることにより、削除されるといった改正である。

石本教育長 機構改革に伴って、契約管理課を新設することにより、教育委員会の事務分掌から削除される。新旧対照表の1ページの太字で書いてあるところが削除されて、市長部局へ移管されるということで、表の右側にある部所管の予算要求の調整に関することだけが教育委員会に残るということである。

牛尾室長 6ページの学力向上推進室の第4号小中一貫教育の推進とあるが、今は小中連携教育という文言に変わっているため変更していただきたい。

石本教育長 学力推進室長から提案のあった4ページの第4号小中一貫教育の推進に関する部分で、確かに今は小中連携教育に名前を変えているので、先ほどの改正と併せて、この部分も訂正をするということで承認いただけるか。

各委員 全会一致で承認

石本教育長 では、小中連携教育に変更をさせていただく。機構改革による事務局組織規則の一部を改正する規則についても承認をいただいた。

その他質問等あるか。

委員方 特になし。

(3) 浜田市教育委員会事務処理規則の一部を改正する規則について (資料3)

日ノ原係長 資料3をご覧いただき、目的・理由については先ほどと同様に10月1日付けの機構改革に伴うものである。

概要については、教育部長及び教育総務課長専決事項の変更である。具体的には3ページの新旧対照表をご覧いただき、規則第7条第1項の教育部長の専決事項の中で、第12号の竣工、承認及び契約に関する部分の契約という部分が無くなるため、施行及び竣工承認に関すること变为る。第16号、第17号については、経理部門に係る支出負担行為に関する事項であるため削除とな

る。続いて、5 ページの同条第 3 項の教育総務課長の専決事項については、第 5 号の 1 件 500 万円未満の工事又は製造に係る契約に関する事、第 6 号の支出命令に関する事、第 7 号の細節間の流用に関する事、第 8 号から第 10 号までの支出負担行為に関する事が全て削除となる。以上である。

石本教育長

先ほどの組織の規則改正に続いて、事務処理の関係の規則改正である。市長部局に契約管理課ができることにより、教育委員会で行っていた部長、課長の専決事項が削除されるということであるがこれについて承認いただけるか。

委員方

全会一致で承認。

石本教育長

ありがとうございます。その他質問等あるか。

委員方

特になし。

(4) 浜田市教育委員会ボランティア表彰について (資料 4)

市原課長

平成 30 年度浜田市教育委員会ボランティア表彰について、各学校に推薦依頼の案内をしたところ 3 校の小学校から 3 名の方と 2 つの団体の推薦があった。「地域の子どもをみんなで見守り、育てま賞」という要項に基づいて表彰をしている。

三階小学校からは個人の方 2 名を推薦していただいた。次のページに推薦一覧があり、上段が活動内容、下段が推薦理由である。1 番の平川さんと 2 番の堀越さんについては 5 年に渡って児童の登校時の安全確保に努めていただき、見守り等行っている。平川さんについては、個人で毎朝登校の安全を見守っていただいております、堀越さんについては、見守り隊に所属し登校の安全を見守っていただいたということで推薦をいただいている。

旭小学校からは、3 番の喜連川さんを推薦いただいた。喜連川さんについては、平成 20 年に旭地区防犯パトロール隊を駐在所員と協力して立ち上げられ、毎朝旭 I C 入り口辺りで児童の安全の見守りをしていただいているということで、推薦していただいている。

周布小学校からは 4 番の日脚町自治会と 5 番の治和町 6 町内見守り隊を推薦していただいた。前周布公民館長の山崎さんが会長として周布地区の見守り活動を中心に担っていただいております、そちらの事務局を通して 2 つの団体の推薦があったと学校から聞いている。

4 番の日脚町の自治会については、年数は確認できていないが、

5年以上に渡ると思うが交通量の多い交差点や危険箇所の見守りを毎日行っていたり、自治会の組織として取組をいただいている。

5番の治和町6町内の見守り隊については、10年以上に渡って町内を上げて継続して取組んでいただいている、交通量の少ないところでの見守りを行っていただき、安心した登下校に寄与している。

資料の1ページ目に記載のある日程で表彰を行う準備を進めているところである。10月26日が浜田市いのちと安全安心の日となっているため、その日で毎年表彰を行っている。以上である。

石本教育長

浜田市教育委員会ボランティア表彰について説明があった。これについて、質問等あるか。

藤本委員

功績については学校から出ているのか。

市原課長

そうである。

藤本委員

記載してある年数が短いと感じている。喜連川さんは平成20年からと書いてあるが、実際はもっと長くされておられる気がする。

市原課長

立ち上げられたのが平成20年で、実際に活動されていたのはもっと前なのかもしれない。

石本教育長

ボランティア表彰を毎年しているが、ここに挙がっていない方で当然長い年数ボランティア活動をされている方もいる。学校から推薦があった方を表彰するため、学校から推薦がない以上、表彰できない。悩ましいところである。

市原課長

学校も中々全部は把握しきれていないので、地域の活動をされている方とか団体等に声掛けをして、そこから挙がってきた方を推薦する学校もある。平成23年から表彰を始めており、今年で8年目になるが団体では11団体、個人では18人の方を平成29年度までのところで表彰をさせていただいている。中には推薦について声を掛けても、断られる方もおられるため、実際はまだまだ多くの方にボランティアしていただいている。

石本教育長

その他質問等あるか。

委員方

特になし。

石本教育長

それでは推薦のあった個人3名と2つの団体について、浜田市教育委員会ボランティア表彰をするということで承認いただけるか。

各委員
石本教育長 | 全会一致で承認
ありがとうございました。

(5) 平成 30 年 10 月 1 日付け人事異動について (資料 5)

日ノ原係長 | 先般、承認いただいている 10 月 1 日付けの人事異動について
である。昨日 9 月 25 日に内示が行われた。

資料の 1 他部局からの出向解除ということで、教育委員会から
転出される方が 4 名おられる。青少年サポートセンターの有福副
参事、生涯学習課スポーツ振興係の木原係長、教育総務課の江村
主任主事、文化振興課の桑垣主任主事、以上の 4 名である。

3 他部局からの出向ということで教育委員会へ転入して来られ
る方が、新しく生涯学習課スポーツ振興係に河野係長、青少年サ
ポートセンターに黒見主任主事、文化振興課に中山主任主事、以
上の 3 名である。

4 兼務発令ということで、有福副参事が育成支援係長事務取扱
兼務をしていたが、長見所長が係長事務取扱兼務という形にな
る。

また、2 正式採用ということで 4 月から石見幼稚園に新採教員
として務めている河村教諭が 10 月 1 日付けで正式採用となっ
ている。以上である。

石本教育長 | この件については、事前に承認いただいた案件である。1 番の
出向解除は、9 月 30 日付けではないのか。

古森課長 | 9 月 30 日付けであるが、実際には休日だったため 10 月 1 日と
表記している。

石本教育長 | 辞令書は 9 月 30 日付けか。

古森課長 | そうである。

石本教育長 | 1 番の他部局からの出向解除については 9 月 30 日付けで、後
は 10 月 1 日付けである。これについて、承認いただけるか。

委員方 | 全会一致で承認。

石本教育長 | ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

佐々木部長 | 個人一般質問 通告一覧 (30 年 9 月定例会) (資料 6)

9 月議会の一般質問について概要を説明する。今回は 22 人
の議員の方が質問をされて、その内教育委員会への質問につ
いては 14 名の議員からいただいた。

資料6をご覧いただき、まず布施議員から7ページにある、今第二浜田ダムの工事をしているが、その周辺を使ったふるさと郷育での活用をという様な質問があった。

8ページについては、災害漂着ゴミの処理について質問があった。これはおそらく、浜田より西の方から、主に流木等の漂着物が、豊ヶ浦に相当の量が流れ着いた。中々重機が入れないので人の手によって処理をしたという経緯があつて、災害の場合等は現地で焼却処分をすることが認められるということもあり、現地で焼却できないのかという質問であった。ここは国指定の天然記念物であるため県を通じて国にも確認をしたが、できるだけ現地での焼却は行わない方が良いとの回答であったため、現地で焼却とはせずに、流木を切って人の手で行ったという経緯があった。

9ページには黄長石霞石玄武岩の管理について、浜田市で管理するべきではないかという質問があった。

続いて、牛尾議員からは、10ページにある御便殿での情報発信については浜田城・北前船関連のパネル展示を行う方向性であるが、もっと情報発信をするべきではないかという質問があった。

11ページには、御便殿の中に浜田市に寄贈いただいた鎧を展示してはどうだろうかという質問があった。ちなみに御便殿については、主にパネル展示という形にしているが、その中で可動式の展示ケースも設置をして、このケースに鎧を展示することを検討していると回答した。

12ページは日本遺産の外ノ浦についての街並み保存について、行うべきではないかとの質問があった。中々、個人のお宅ということで今後検討したいという回答をさせていただいた。

13ページには、市民遺産についてということで、市民遺産として登録あるいは保存をしてはどうかという質問があった。

続いて、笹田議員からの質問は、14ページに（仮称）浜田歴史資料館について、まず最初に御便殿の話をしたが、御便殿とは別に歴史資料館について別の形で来年度以降検討するという事を議会で報告している。それについて検討委員会をすぐに立ち上げる必要があるのかという質問があった。

15ページには、（仮称）浜田歴史資料館について市長と教育委員会でどういった協議を行っているかという質問があった。

16 ページでは、(仮称) 浜田歴史資料館の建設について、市民から賛同を得られるのかという質問があった。

続いて、永見議員からは、17 ページで学校教育について学力向上総合対策事業の継続や取組の現状についての質問があった。

18 ページでは、学力向上の対応策についての質問があった。

19 ページでは、地震対策について学校施設・幼稚園のブロック塀調査後の対応について質問があった。今の段階ではすぐに対応できないが、コーンを設置する等の応急処置をしていることを報告している。

20 ページでは、通学路のブロック塀の調査状況についての質問があった。

21 ページでは、危険箇所の対策についての質問があった。

続いて、澁谷議員からは、22 ページに浜田市の芸術振興について戦術と戦略の質問があった。

23 ページでは、猛暑対策ということで学校現場での対策についての質問があった。

24 ページでは、学校現場の教職員の不足の実態についての質問があった。

25 ページでは、教職員の時間外勤務の現状についての質問があった。

続いて、西田議員からの質問で、26 ページに、人材育成ということで子どもの教育環境について、最初は社会教育や学校でのふるさと郷育の実態についての質問があった。26 ページは市長答弁であり、27、28 ページが教育長答弁である。

29 ページからは、子どもの感性や自尊心、ふるさと郷育の取組と考え方についての質問であった。

続いて、西村議員からは、31 ページから 34 ページまで、小中学校等におけるエアコンに関する質問があった。

35 ページから 37 ページまでブロック塀の安全対策関係とトイレの洋式化について質問をされていたが、実際に議場では時間が足らずに質問をされなかった。

続いて、串崎議員からは、38、39 ページに方言の価値について学校教育でも取り組むべきではないかとの質問があった。

続いて、小川議員からは、40 ページから 45 ページまで、小中学校の英語教育に関して色々な角度から質問があった。

46、47 ページでは、RESAS（地域経済分析システム）を活用した授業についてということで、RESAS については人口や産業構造等のデータを集めた様なものがあって、それを活用した授業の導入についての質問があった。

続いて、道下議員からは、48 ページから 54 ページまで、学力向上対策についての質問、教育環境についての質問及び学校給食での魚介類提供についての質問があった。

続いて、村武議員からは、55 ページから 59 ページまで、公民館の機能と役割についての質問及び社会教育についての質問があった。

続いて、上野議員からは、旭町について生徒数が減少する中でできるだけ期待に添えないかとの質問、あるいは、あさひ社会復帰促進センターのパンを旭自治区の小中学校で提供しているが、これを浜田市全体に拡大できないかという質問があった。

続いて、野藤議員からは、63 ページから 68 ページまで小中連携教育の現状について、教員の多忙感の解消について、中学校の部活動について及びスポーツ振興についての質問があった。

最後に、芦谷議員からは、69 ページから 74 ページまで、市誌編纂業務の推進について、石見神楽の振興について及び教職員の時間外勤務等についての質問があった。

今回の個人一般質問では、エアコンの関係や教職員の勤務、時間外労働、そういった質問が多いと感じた。以上である。

古森課長

行事等予定表（資料 7）

資料 7 の行事予定表をご覧いただき、今月については 9 月 30 日に第 6 回浜田市人権尊重のまちづくり推進大会、10 月に入ると文化、芸術、スポーツと色々な行事が目白押しとなっているため、都合がつけば出席いただければと思う。行事予定表には載せていないが、9 月 29 日には幼稚園の運動会が開催されるため、よろしく願います。雨の予報であるが当日は雨でも石見幼稚園は石見小学校体育館、原井幼稚園、長浜幼稚園は園の遊戯室で行う。以上である。

牛尾室長

第 5 回（9 月）市校長会資料（資料 8）

9月の校長会で配布した資料の報告である。資料の項目1スーパーティーチャー示範授業の研修を夏休みに開催している。その資料を改めて配布した。授業改善のヒントがあると考えたため、是非この資料を校内の先生方に配布をしてくださいと伝えている。例えば、(2) 学力向上のための最善策は、明確なめあてを持って、そして授業の最後にはめあてにかえって振り返るといった連続した授業づくりであり、当たり前ではあるが、これに尽きると感じている。

また、(5) B問題いわゆる活用等の問題は、学校の生徒たちは中々力を発揮しにくい。B型問題を教材とした授業も取り入れていくべきだという話があって、是非これにも挑戦していきたいと思っている。

また、(6) 当たり前のことを当たり前に丁寧に積み重ねていくこと、地道な道のりが1番の近道であるということを伝えた。

裏面の項目3にスーパーティーチャーの示範授業で算数と国語を行っているが、小学校での開催ということもあり、中学校教員は中々参加が難しい状況があるので、来年度は中学校を会場に行い、中学校教員も参加しやすい日程で来年の8月19日辺りに設定をして、道徳科の授業を行い、チーム学校としての取組を研修内容にしたいと校長会で伝えた。来年度は中学校を会場として、中学校教員の実習をしていきたいと考えている。

項目4については、山陰中央新報の記事に島根県全体の小中学生の算数の学力が低迷しており、それは読解力不足が原因ではないかと現場の教員方は思っている。国語も含めて算数も全て関わっている。それについて、どうするのかというのは本当に大きな課題だと思っている。

また、今年度までの学力調査はA問題とB問題と分かれていたが、来年度は一体化した問題になる。今までの数字を全て記録していたが、来年度リセットされることになるので、また来年度スタートで行っていく。文章を読み取りながら計算問題が入ってくるので、ますます読み取りの力が問われる。圧倒的な読書量だとか読書習慣というのは、本当に必要となってくると感じている。以上である。

地域との協働による高等学校改革の推進について（資料9）

今、生涯学習課が中心となって教育の魅力化を進めているが、その1つである高等学校の魅力化に関わるものである。資料の2枚目に、島根県教育委員会教育長から各市町村の教育長宛に届いた通知文を付けている。本件については市町村（地域振興関係課）に対しても通知しているという内容であり、教育委員会とまちづくり担当部署とが一緒になって高等学校の改革について取り組んでいくということである。

資料の3枚目が、国からの通知文であり項目1-(1)に、「基本的な考え方として子どもたちに求められる資質・能力とは、何かを社会と共有し、連携する『社会に開かれた教育課程』を重視するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立等に取り組むべきことが示された。」ということであった。

また項目1-(2)に、「社会教育関係者をはじめ地域の多様な主体と学校が連携・協働し、高校生が地域課題を解決する取組を地域の住民や団体等と共に企画・実施することは、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に大きな意義を持つものであり、地域への愛着や地域の将来を担う当事者としての意識の向上など、地域の持続的な発展にも資することが期待されている。」とある。

項目2の各地方公共団体における積極的な取組の推進についてということで、「文部科学省としては、地域との協働による高等学校改革について具体的な推進方策の検討を進めているということで、次のページに高等学校と市町村・産業界・高等教育機関・社会教育施設（公民館等）等が協働し、地域課題の解決等を通じた探究的な学びを実現する取組を推進していただきますようお願いするとある。その際、各都道府県等においては効果的な取組を推進するため、学校教育担当部局と社会教育担当部局、さらには高等学校の所在する地元地方公共団体等との連携にご留意いただくようお願いする。」ということであった。

これは最初のスタートの文章であるが、これからの方法も小学校、中学校で色々と関わってきた延長として学校教育、社会教育、さらには地域振興等が一緒になって課題解決に向けた方向性に関わりを進めてほしいという内容の文書があったため、

村木課長

ご報告させていただいた。文部科学省も、高等学校は県の管理ではあるが、そこで学ぶ子どもたちは地元の子であるから市町村と一緒に教育に関わってほしいとの内容であった。

はまだっ子共育活動について（資料10）

今回、9つある中学校区の中で一中校区、二中校区、三中校区、三隅中校区の4つの校区のものを紹介する。

最初に、一中校区の石見公民館だよりをご覧ください、具体的には放課後・休日支援事業についての内容で、石見小学校のすぎの子学級と松原小学校のくすの木学級で、それぞれ公民館がコーディネートをし、サマーコンサートや西川議員が「落語を聴こう！体験しよう！」という講演をコーディネートし、実施している。

次のページに、資料左上に、共育とは何かということで、地域や校区の方々に共育の取組について色々とお知らせを載せている。

左下には、浜田市が取り組んでいるふるさと再発見事業に添って、地域のいいところ発見ということで、一中校区の学校に新任または転任して来られた先生方を中心に、一中校区を巡ってもらおうということで、長見町、三階町、佐野町、宇津井町、後野町、浜田第2ダムなど、ここに書いてある歴史ある場所を皆で見回った。まずは、子どもたちが勉強する前に先生方に地域を知ってもらうという取組である。

右上には夏休みということで、学校の校長先生や教頭先生、又ふるさと郷育の担当者の先生等の関係者の方々が一同に会してネットワーク会議を行ったことが載っている。実は弥栄中校区はまだできていないため、その他の8つのネットワーク会議があり、反省や2学期以降の計画について協議をしている。

右下には、本を読んで元気になる講座とあり、これは地域連携講座というものを、石見公民館が中央図書館と連携をして行っている。読み聞かせの機会を与えるということで、ボランティアへの第一歩を踏み出そうというテーマを持った県の事業を導入して石見公民館が中央図書館と連携して行っている事業である。

次に、二中校区の事業について共育だよりをご覧ください、最初に、学校支援・ふるさと教育のテーマがあるが、学校と公

民館とが今年度は防災をテーマに決め、ネットワークの中で一般救命救急や、防災の担当部署から話を聞く等、子どもから大人までという様な企画をしたものである。公民館が手続きやコーディネートをして事業展開をしている。

次のページの、左側に原井小学校の1年生がシャボン玉を公民館でしている様子があり、地域の方も巻き込んで、地域と学校を巻き込んだ事業展開をしている。左下の辺りには、5年生が八右衛門の盆踊りを地域の方に教えてもらいながら口説き、踊り、太鼓等を体験している。

右側にはふるさと再発見事業で夏休み中に6人の名人に会うという事業の中で、落語名人の西川議員であるとか、ボードゲームの名人、ドリームキャッチャー作り名人、フラダンスの名人等、子どもたちが地域の方と出会うきっかけ作りを、1つのゲームの様な形で、目標を決めて実施をしている。

次のページに、共育のことがあり、学校支援もあれば放課後支援も行っている。放課後支援ということで、児童を原井小学校に集めて地域の方と七夕会を開催したり、原井小学校の児童クラブと一緒に夏休みに流しそうめんをしたりといった事業を展開している。児童クラブだけで行くと、どうしても指導員だけになってしまうことが多いが、公民館が関わると地域の方とつないでもらえるため、地域の方が参加しやすくなる。

次のページに、雲雀丘小学校と第二中学校をつないだ部活動の体験のことがあり、やはり部活動というのは中学校の魅力であるため、小学校の児童を中学校に連れて行き、どういった部活動があるのかを一緒に見て回り、バレーと卓球を体験し、交流をしている。これも放課後支援の1つである。

次に三中校区のはまだっ子共育プロジェクトの事業である。小学1年生から中学3年生まで色々関わっているが、三中校区の特徴は、資料の真ん中辺りにある平和学習である。周布公民館は平和学習として地域の方やかたりべの方をお招きして、児童に当時の話を聞く機会を設定している。また、長浜町も周布町も神楽が有名であるため、神楽に関する学びも毎年行っている。

次に、三隅中校区について、資料の左側にネットワーク会議の様子を紹介している。会議のメンバーを載せているが、校長

先生、PTA 役員、児童クラブ、自治体職員等のメンバーが集まって構成している。これからの子どもたちにつけたい力や地域に望むこと、PTA 役員からの意見要望等を、社会教育主事がファシリテートしながら、学校支援、放課後支援、家庭教育支援について、それぞれ意見交換を行ったところである。会議の中で「夏休み子ども事業カレンダーを見て、子どもたちのために色々と考えてくださっていることが分かり嬉しい」という意見があった。これは三隅中校区だけであるが、6つの公民館が夏休みに1つの事業カレンダーを作り、他の公民館がそれぞれの公民館と被らない様に、子どもたちが夏休みにそれぞれの公民館での活動に参加できる様に計画している。私は三隅公民館エリアで子ども防災フェスタに参加をしたが、その時も岡見や井野の子どもたちも参加していた。右側には学校支援のことがあり、田植え体験、水墨画教室、柿園で摘果体験、収穫体験、スケッチ大会といった事業も行っている。

次のページには、石見神楽の良さを再発見ということで、これは長浜・周布・大麻公民館の3つの公民館が連携して行っているふるさと再発見事業である。それぞれ満員であった。

次のページは、海から浜田を眺めようという事業であり、水産高等学校の協力を得て、3世代交流事業ということで夏休みに3世代で沖から浜田を眺めるといったことを行った。定員25名に対し満員であった。

次のページは、地域の企業めぐりについてであり、マルハマ食品(株)や(株)ライトを見学させていただいた。地元の企業を小学校のうちから興味を持ってもらい、また、地元の企業と公民館をつなごうということで企画している。企業と公民館について、昔は壁があったと感じるが、どんどん企業にも進出していて、子どもと社会とのつなぎを行っている。特に、周布公民館は周布町に企業が多いということもあり、初めて企画をし、15人の子どもたちが参加をしたと聞いている。

次のページは、周布公民館がきもだめしを行ったことがある。これは周布小PTAと公民館が連携して行っており、子どもたち90名の参加があった。日中の15時から16時の間で行ったが、部屋を暗くして大人は一生懸命子どもたちを怖がらせていた。子どもたち90名、大人40名で約130名の方が周布公民館で毎年恒例のきもだめしを行った。

第 12 回浜田市総合スポーツ大会各競技開催日及び会場（資料 11）

資料 11 をご覧いただき、各開催地の会場を紹介している。都合がつけば視察、応援等に是非お越しいただければと思う。毎年この大会期間に 2,500 人程度のスポーツ愛用者の方がウォーキング、スキー等それぞれの競技に参加される大きなスポーツ大会である。特に 10 月 7 日、8 日、14 日、16 日辺りがメインかなと思っている。

講演会「市民の図書館を支えた佐々田懋」（資料 12）

図書館開館 5 周年記念事業実行委員会が企画した講演会を 10 月 28 日に中央図書館多目的ホールで行う。講師の河野純一さんは、新聞記者であり、また、島根県立大学で服部之總の研究されている方である。ご都合がつけば、参加いただければと思う。

石本教育長

ありがとうございました。その他資料のないところで報告等はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

先ほどの資料 6 から 12 までのところで課長方から報告をいただいた。委員方から質問意見等あるか。

質疑応答

石本教育長

10 月 17 日の浜田市小学校体操競技大会の案内は届いているか。

金本委員

届いている。

石本教育長

委員方は全員出席されるか。

委員方

出席する。

古森課長

教育委員会の管理職も案内は届いている。

石本教育長

午前中であるが、よろしく願います。

宇津委員

学力調査の関係で来年度から A 問題と B 問題が一体化するという話があった。子どもたちは戸惑うと思うが、何か特別な対策をされるのか。

牛尾室長

実は今年度の算数の A 問題も知識を問う問題であったが、問題文があつて次の計算をなさいという様な内容であった。今まで

は、計算だけが5問くらいの問題であった。そのため、来年度から全ていきなり変わるという訳ではないが、ただその中で知識や活用を問われる問題が45分間の中で散りばめられるため、文章をしっかりと読み取る力が問われると思う。対策としてはこれから検討していく。

石本教育長
牛尾室長

県から新たな傾向に対する取組の事例などは出てくるか。

全国学力・学習状況調査の報告書や授業のアイデア集などは届いているため、それを是非使って授業に活かしてほしいと校長会の時には伝えている。県の学力調査が12月にあるため、その中でどうなっているか。

石本教育長
牛尾室長

県の学力調査の問題は、なるべく全国学力調査と同じ様な問題をパターンにしてくれたら助かる。

今年度の県の学力調査は、A問題B問題と分かれている問題であった。

石本教育長

今日の山陰中央新報に松江市の学力の記事が出ていて、県の平均と松江市の平均は、松江市が1点高い程度であった。私の認識としては、松江市、出雲市が県の平均よりも2点、3点は高くして全体を引き上げているというイメージでいたが、今回松江市が県平均よりもあまり高くなかったというのは、他の市町村が頑張っただけで県内での差が縮まってきているとの捕らえ方もできると思う。

牛尾室長
宇津委員

県内でも全国でも、差が縮まってきている。

この数字を見ると突出してはいない。

また、一覧を見たときに、松江市内の高得点の学校とそうでない学校の差が大きい。私は真っ先にどこを見るかということ、どこの学校が1番頑張っているのかを見る。一般的にはそういう見方をするのは分からないが。

石本教育長
宇津委員

であるから、公表には問題があると思う。

それを校長の立場で見た時に、どの様な感情が起こるのか。やはり浜田市のように公表しない方が良いと感じた。

石本教育長

生涯学習課から公民館の資料、添付書類等をたくさんご覧いただいたが、こういった資料は直接委員方に届けられているか。公民館だよりや学校だよりはどうか。

花田委員
藤本委員
石本教育長
委員方

東中校区は届いている。回覧されている。

学校だよりは3校ぐらい届いている。

その他、質問等はないか。

特になし。

4 その他

石本教育長
委員方

委員方から報告事項等あればお願いします。
特になし。

次回定例会日程

定例会 10月24日(水) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 11月21日(水) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

15:17 終了